

令和4年(2022年)2月2日(水)

令和3年度(2021年度)第1回 地域職域連携推進会議

<行政説明>

北海道循環器病対策推進計画について

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
がん対策係



循環器病とは…

脳卒中、心臓病、その他の循環器病を含め「循環器病」といいます。

循環器病は、急激に発症し、数分から数時間の単位で生命に関わる重大な事態に陥り、突然死に至ることがあります。

たとえ死に至らなくとも、特に脳卒中においては、重度の後遺症を残すことも多くあります。

発症後早急に適切な治療が行われれば、後遺症を含めた予後が改善される可能性がありますが、回復期及び慢性期には、再発や増悪を来しやすいといった特徴があります。

循環器病の北海道内の現状①患者数

【外来患者の主な状況（推計）】

総数		27万3,100人	100.0%	
	消化器系の疾患	4万3,300人	15.9%	15歳～64歳
	循環器系の疾患	3万8,500人	14.1%	8,600人
	高血圧性疾患	2万7,500人	10.1%	6,300人
	心疾患（高血圧性のものを除く）	7,100人	2.6%	1,500人
	虚血性心疾患	3,400人	1.2%	600人
	その他の心疾患	3,800人	1.4%	900人
	脳血管疾患	3,100人	1.1%	500人
	脳梗塞	2,100人	0.8%	300人
	その他の脳血管疾患	1,000人	0.4%	300人
	その他の循環器系の疾患	800人	0.3%	200人
	筋骨格系及び結合組織の疾患	3万3,100人	12.1%	

※厚生労働省 患者調査（平成29年）

本道の推計外来患者数は、消化器系疾患が最も多く4万3,300人（15.9%）、次に循環器系疾患が3万8,500人（14.1%）となっています。

また、3万8,500人のうち約22.3%にあたる8,600人が15歳～64歳です。

循環器病の北海道内の現状②死亡の状況

【年齢調整死亡率 脳血管疾患】

		平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)
男性	北海道	62.7	47.1	34.7
	全国	61.9	49.5	37.8
女性	北海道	34.6	25.2	21.0
	全国	36.1	26.9	21.0

【年齢調整死亡率 心疾患】

		平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)
男性	北海道	84.8	76.8	64.4
	全国	83.7	74.2	65.4
女性	北海道	45.2	41.2	34.5
	全国	45.3	39.7	34.2

※厚生労働省 人口動態統計特殊報告

脳血管疾患の年齢調整死亡率は、平成17年（2005年）は、男性62.7、女性34.6であったものが、平成27年（2015年）は、男性34.7、女性21.0となり、いずれも大幅に減少しています。

心疾患の年齢調整死亡率は、平成17年（2005年）は、男性84.8、女性45.2であったものが、平成27年（2015年）は、男性64.4、女性34.5となり、いずれも減少しています。

循環器病の北海道内の現状②死亡の状況

【年齢調整死亡率 心疾患のうちの心不全】

		平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)
男性	北海道	27.4	26.6	20.6
	全国	22.0	19.5	16.5
女性	北海道	18.1	17.7	15.0
	全国	15.2	14.2	12.4

※厚生労働省 人口動態統計特殊報告

心疾患のうち心不全の年齢調整死亡率は、平成17年（2005年）の男性が北海道20.6に対し、全国16.5、女性が北海道15.0に対し、全国12.4であり、男女とも全国平均より高くなっています。

循環器病の北海道内の現状③道民の健康状態の状況

○H28年の食塩摂取量の平均

成人男性11.0g（全国10.8g）

成人女性 9.2g（全国 9.2g）

全国と同水準ですが、
目標値8.0gよりも摂取
量が多くなっています

○H28年の1日の歩行数の平均値

成人男性6,765歩（全国6,984歩）

成人女性5,940歩（全国6,029歩）

男女とも全国を下回っ
ています
前回調査より減少して
います

○R1年の成人の喫煙率

男性31.7%（全国28.8%）

女性14.9%（全国 8.8%）

男女とも全国を上回っ
ています

循環器病の北海道内の現状③道民の健康状態の状況

○H28年の肥満者の割合（BMI 25以上）

成人男性39.6%（全国31.3%）

成人女性26.7%（全国20.6%）

男女とも全国を上回っています

○H28年の高血圧症有病者の割合

成人男性57.1%（全国57.4%）

成人女性43.5%（全国42.1%）

女性は全国を上回っています
前回調査より増加しています

○H28年の総コレステロール240mg/dl以上の者の割合

成人男性 9.5%（全国 9.8%）

成人女性18.0%（全国17.3%）

女性は全国を上回っています

循環器病の北海道内の現状

④特定健診・特定保健指導の実施状況

○特定健康診査実施率

	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
北海道	42.2%	44.1%	44.2%
全国	52.9%	54.4%	55.3%

特定健康診査の実施率は、全国を下回っており、実施率は全国47都道府県で最下位となっています。

○特定保健指導実施率

	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
北海道	15.5%	18.7%	18.3%
全国	19.5%	23.3%	23.2%

特定保健指導の実施率は、全国を下回っており、R1年度の実施率は全国47都道府県で46位となっています。

全体目標

「健康寿命の延伸」
「循環器病(脳血管疾患、心疾患)の年齢調整死亡率の減少」

基本方針

- 「1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」
- 「2. 保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実」
- 「3. 循環器病の研究推進」

個別施

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 循環器病の発症予防及び合併症の発症や症状の進展等の重症化予防を推進するため、道民への適切な情報提供

2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

患者の方々が、住み慣れた地域で質の高い生活ができるよう、関係機関連携による、保健・医療・福祉等のサービス提供体制づくり

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
 - ▶ 特定健康診査・特定保健指導等の実施率向上や実施体制充実への取組
- ② 救急搬送体制の整備
 - ▶ 広域性を考慮した救急搬送体制の構築や、病院前救護体制充実への取組
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
 - ▶ 急性から回復期、維持期まで切れ目のない医療提供体制の構築
- ④ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
 - ▶ 医療、介護、福祉サービスの連携体制充実への取組
- ⑤ リハビリテーション等の取組
 - ▶ 急性期~回復期、維持期の、実施体制や関係機関の連携体制の充実への取組
- ⑥ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援
 - ▶ 関係機関と連携し、情報提供や相談支援体制の充実への取組
- ⑦ 循環器病の緩和ケア
 - ▶ 多職種連携・地域連携の下、適切な緩和ケア推進への取組
- ⑧ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
 - ▶ 適切な診断、治療、サービスを受ける体制の整備や、社会参加の体制整備
- ⑨ 治療と仕事の両立支援・就労支援
 - ▶ 関係機関と連携した相談支援体制充実と、企業への普及啓発の取組
- ⑩ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
 - ▶ 小児期から成人期まで切れ目のない医療提供体制構築と、自立支援への取組

3. 循環器病の研究推進

- 国が推進する循環器病の病態解明等の研究に、必要に応じて協力するとともに、研究成果を道民へ速やかに情報提供

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進

- 関係者等の役割分担・連携、「北海道循環器病対策推進協議会」での推進状況や達成状況の評価の実施、取組指標